

記入要領

大学の世界展開力強化事業
(令和2(2020)年度採択)

「事後評価関係書類等の作成・提出について」に記載している整理番号(事務局にて転載済)

【タイプA】

大学等名 (○が代表大学)				整理番号	
主たる交流先					
事業名	(事務局にて転載済)				
学長名					
事業責任者	(氏名) ○○ ○○ (職名) 大学院○○○研究科・教授 (交替年月日) 20XX年○月○日				
取組学部・研究科等名	(事務局にて転載済)				
相手大学等名		日本語表記	英語表記	国名	備考
	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤	海外相手大学追加調書を提出した場合は、追加した相手大学等名(日本語表記・英語表記)と国名を計画調書から転載した海外の相手大学名に続けて記入し、備考欄へ「事後評価時追記」と記入してください。 なお、中間評価時に海外相手大学追加調書を提出している分については、事務局にて記入済みです。			
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪	●●大学	●●University	◆◆◆◆	事後評価時追加
	⑫				
	⑬				
	⑭				
⑮					
参考資料一覧	資料名			備考	
	1	大学の世界展開力強化事業 事業結果報告書			2020～2024年度
	2	複数年度分の報告書等を提出する場合は、「備考」欄に年度を必ず記入してください。(西暦を記載) 参考資料がない場合は、資料名欄に「-」と記入してください。			
事務担当者	(氏名) ○○ ○○○		(職名) ○○○部△△△課・副課長		
連絡先	(住所) 〒				
	(電話番号)		(E-mail)		

※事後評価調書の内容等について連絡可能な事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名の氏名・職名を記入してください)。また、連絡先E-mailについては、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

「代表大学名」を記入してください。

(大学名:) (タイプA 主たる交流先: アフリカ諸国)

質の保証を伴った交流プログラムの目的と内容

① 交流プログラムの目的・概要等 (計画調書からの転載)

【交流プログラムの目的及び概要】

計画調書からの転載
(事務局にて転載済)

【養成する人材像】

交流学生数については、本調書内の以下の数値において齟齬がないよう注意して作成してください。

- ・ [①交流プログラムの目的・概要等] の「【本事業で計画している交流学生数】」
- ・ [取組実績の概要] の「【本事業における交流学生数の計画と実績】」
- ・ [2. 目標の達成状況] の「⑥達成目標 (3) 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした日本人学生数の推移について」
- ・ [2. 目標の達成状況] の「⑥達成目標(4) 学生に修得させる具体的能力のうち、外国人学生の日本語力向上に関する定量的指標について」
- ・ [2. 目標の達成状況] の「⑦本事業において海外に留学した日本人学生数の推移」
- ・ [2. 目標の達成状況] の「⑧本事業において受け入れた外国人学生数の推移」
- ・ [2. 目標の達成状況] の「⑨⑩交流学生数内訳」

【本事業で計画している交流学生数】 ※各年度の派遣及び受入合計人数

(単位：人)

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
合計人数							0		0	0
申請時の計画調書記載人数										
海外相手大学追加調書分										

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

(大学名：)

(タイプA 主たる交流先：アフリカ諸国)

② 事業の概念図（計画調書からの転載）【1 ページ以内】

計画調書からの転載（事務局にて転載済）

③ 国内大学等の連携図（計画調書からの転載）【1 ページ以内】

計画調書からの転載（事務局にて転載済）

取組実績の概要 【1ページ以内】

- ・「取組実績の概要」は、事後評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の取組状況や成果、目標の達成状況及び補助期間終了後の展開等について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。
- ・本欄のみで完結するようにしてください。（「事後評価調書〇ページ参照」などの記載は認められません。）
- ・本欄に記入した内容について、本調書の他項目の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。

【本事業における交流学生数の計画と実績】

		(単位:人)											
		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		合 計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
計画※												0	0
実績		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実際に渡航した学生 (以下「実渡航」)		「事後評価データシート」を活用して記入し、 表を図として貼り付けてください。										0	0
自国にて国際教養をオンラインで学修 (以下「オンライン」)												0	0
実渡航とオンライン受講を行った学生 (以下「ハイブリッド」)													
I	コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの												
II	もともとオンライン実施で準備していたもの												

I コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
II もともとオンライン/実施で準備していたもの

※海外相手大学を追加している場合は、追加による交流学生数の増加分を含んでいる。

(大学名 :

) (タイプA 主たる交流先 : アフリカ諸国)

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ以内】

【Ⅰ 事業全般について】

- ・【特筆すべき成果（グッドプラクティス）】は、事後評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の成果について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。
- ・本欄のみで完結するようにしてください。「事後評価調書〇ページ参照」などの記載は認められません。
- ・【Ⅱ オンラインの活用について】には、コロナ禍において、オンラインを活用してどのような工夫を図ったかについても記入してください。
- ・適宜図表等を用いて作成いただいて構いません。
- ・本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。

【Ⅱ オンラインの活用について】

事業全体のアクティビティ【1ページ以内】											
20XX年 月											
20XX年 月	採択後から2024年度末までの当該事業に係るアクティビティについて、年月及び内容を、実施時期の早い順に記入してください。 また、補助期間終了後である2025年度のアクティビティについては、記入しないでください。 なお、必要に応じて、採択前（2020年4月～事業開始）のアクティビティを記入してもかまいませんが、<u>それらは事後評価の対象とはなりません。</u> 記入する場合は、下記を参考に採択前のものであることを明示してください。 (採択前のアクティビティを記入する場合) <table><tr><th colspan="2">事業全体のアクティビティ【1ページ以内】</th></tr><tr><td>20XX年4月</td><td>.....</td></tr><tr><td>20XX年7月</td><td>.....</td></tr><tr><td></td><td>(以上、採択前のアクティビティ)</td></tr><tr><td>20XX年12月</td><td>.....</td></tr></table>	事業全体のアクティビティ【1ページ以内】		20XX年4月		20XX年7月			(以上、採択前のアクティビティ)	20XX年12月	
事業全体のアクティビティ【1ページ以内】											
20XX年4月											
20XX年7月											
	(以上、採択前のアクティビティ)										
20XX年12月											

1. 取組実績及び成果	
申請時の事業概要	事業計画の取組状況及び成果
① 交流プログラムの内容及び大学間交流の枠組み形成 【10ページ以内】	
【計画内容】 計画調書の【質の保証を伴った交流プログラムの目的と内容】 ④交流プログラムの内容 ⑤質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成からの転載（事務局にて転載済）	【取組状況】 評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。 【得られた成果と課題】 評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。 【オンラインの活用について】 コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

（大学名：

）（タイプA 主たる交流先：アフリカ諸国）

※(1)～(3)とそれぞれ対応する【取組状況】
【得られた成果と課題】及び【オンラインの活用について】を合わせて3ページ以
内

② 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備 【(1)～(3)合わせて5ページ以内】	
申請時の事業概要	事業計画の取組状況及び成果
(1) 外国人学生の受入のための環境整備	
【計画内容】 計画調書の【外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備】 ①外国人学生の受入のための環境整備 ②日本人学生の派遣のための環境整備 ③関係大学間の連絡体制の整備 からの転載（事務局にて転載済）	【取組状況】 評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組 状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述し てください。 【得られた成果と課題】 評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得ら れた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説 明は後述してください。 【オンラインの活用について】 コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するた めの工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

(2) 日本人学生の派遣のための環境整備

【取組状況】
評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。
【得られた成果と課題】
評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。
【オンラインの活用について】
コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【オンラインの活用について】

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

(3) 関係大学間の連絡体制の整備

【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【オンラインの活用について】

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【オンラインの活用について】

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

※(1)～(3)とそれぞれ対応する【取組状況】

【得られた成果と課題】及び【オンラインの活用について】を合わせて3ページ以内

③ 事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及、交流プログラムの質の向上のための評価体制 【(1)～(3)合わせて5ページ以内】

申請時の事業概要

事業計画の取組状況及び成果

(1) 事業の実施に伴う大学の国際化

【計画内容】

計画調書の【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及】

①事業の実施に伴う大学の国際化

②国内外への情報提供の方法・体制、成果の普及

からの転載（事務局にて転載済）

【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【オンラインの活用について】

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

(2) 国内外への情報提供の方法・体制、成果の普及

【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【オンラインの活用について】

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

(3) 交流プログラムの質の向上のための評価体制

【計画内容】

計画調書の【本事業の実施計画、評価体制】
②交流プログラムの質の向上のための評価体制
からの転載（事務局にて転載済）

【取組状況】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【得られた成果と課題】

評価要項の観点に留意して、2020年度の採択後から2024年度末までの得られた成果と課題について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

【オンラインの活用について】

コロナ禍において、オンラインを活用して、事業を円滑に運営するための工夫や学生への配慮がなされていれば記載してください。

④ 留意事項への対応等 【2ページ以内】

中間評価における留意事項	留意事項への対応状況
中間評価結果に記載されている（特記事項）の＜留意事項＞（当該大学にのみ開示）からの転載 （事務局にて転載済）	左記の【中間評価結果】の内容に対応する2022年度から2024年度末までの当該事業に係る取組状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。 また、2024年度末までに対応できなかった場合、及び留意事項が補助期間終了後の取組にまで言及している場合には、2025年度以降の取組状況、取組予定であることがわかるように記入してください。

※(1)～(6)とそれぞれ対応する【目標の達成状況】を合わせて6ページ以内

2. 目標の達成状況

⑥ 達成目標 【(1)～(6)合わせて10ページ以内】

申請時の事業計画

事業計画の取組状況及び成果

(1) 将来の関係を見据えた連携強化に資する目標について

(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～2024年度まで）

計画調書の【達成目標】

① 将来の関係を見据えた連携強化に資する目標について
からの転載（事務局にて転載済）

【目標の達成状況】

申請時の目標と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～2021年度まで）

(2) 養成しようとするグローバル人材像について

(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～2024年度まで）

計画調書の【達成目標】
② 養成しようとするグローバル人材像について
からの転載（事務局にて転載済）

計画調書の【達成目標】
② 養成しようとするグローバル人材像について
からの転載（事務局にて転載済）

【目標の達成状況】

申請時の目標と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～2021年度まで）

(3) 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした日本人学生数の推移について

(i) 本事業計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアする学生数に関する達成目標

外国語力基準	達成目標 (単位:人/延べ数)	
	中間評価まで (事業開始～2021年度まで)	
【参考】本事業計画において海外に派遣する日本人学生合計数		
1		
2		

(ii) 外国語力基準を定めた考え方

計画調書の【達成目標】

③-1 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアする日本人学生数の推移について

からの転載 (事務局にて転載済)

(iii) 事業

(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス (事業開始～2021年度まで)

(i) 本事業計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアした学生数に関する達成状況

	達成状況 (単位:人)				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
【2020～2024年度の実績】					
上記の内外国語力基準を達成した合計人数	0	0	0	0	0
1					
2					
3					
4					

【目標の達成状況】

左記の内容に対応する2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、できる限り、申請時の目標と対比させて具体的・客観的なデータ (外部で実施されている資格試験等の成績結果等) をもとに実績値を明記し、分かりやすく記入してください。

(4) 学生に修得させる具体的能力のうち、外国人学生の日本語力向上に関する定量的指標について

(i) 本事業計画において定める日本語力向上に関する達成目標

日本語力向上の定量的指標			達成目標 (単位: 人 (延べ数))	
			中間評価まで (事業開始～2021年度)	事後評価まで (事業開始～2024年度まで)
【参考】本事業計画において受入れる外国人学生合計数				
1	内訳	外国人学生小計	0	0
		アフリカ諸国に所在する大学からの受入学生		
		上記以外の受入学生		
2	内訳	外国人学生小計	0	0
		アフリカ諸国に所在する大学からの受入学生		
		上記以外の受入学生		
3	内訳	外国人学生小計	0	0
		アフリカ諸国に所在する大学からの受入学生		
		上記以外の受入学生		

(ii) 日本語力向上の達成目標を定めた考え方

計画調書の【達成目標】
③ー2 学生に修得させる具体的能力のうち、外国人学生の日本語力向上に関する定量的指標について
からの転載 (事務局にて転載済)

(iii) 事業計画全体の目標達成に向けたプロセス (事業開始～2024年度まで)

(i) 本事業計画において定める日本語力向上の定量的指標及び同指標をクリアした学生数に対する達成状況

日本語力向上の定量的指標		達成状況 (単位: 人)				
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
本事業計画において受入れた外国人学生合計数 (2020～2024年度の実績)						
上記のうち日本語力向上に関する目標を達成した学生	外国人学生小計	0	0	0	0	0
	アフリカ諸国に所在する大学からの受入学生	0	0	0	0	0
	上記以外の受入学生	0	0	0	0	0
外国人学生小計		0	0	0	0	0
1	内訳	アフリカ諸国に所在する大学からの受入学生				
		上記以外の受入学生				
2	内訳	外国人学生小計	0	0	0	0
		アフリカ諸国に所在する大学からの受入学生				
		上記以外の受入学生				

【目標の達成状況】

申請時の目標と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス（事業開始～2021年度まで）	
(5) 学生に修得させる具体的能力のうち、(3)、(4)以外について	
(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～2024年度まで） 計画調書の【達成目標】 ③ー3 学生に修得させる具体的能力のうち、「③ー1、③ー2」以外について からの転載（事務局にて転載済） (ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～2021年度まで）	【目標の達成状況】 申請時の目標と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

(6) 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組について

(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～2024年度まで）

計画調書の [達成目標]

④ 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組について

からの転載（事務局にて転載済）

【目標の達成状況】

申請時の目標と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～2021年度まで）

⑦ 本事業において海外に留学した日本人学生数の推移（質の保証をともなった日本人学生の派遣者数） 【2ページ以内】

2019年5月1日現在／本事業の取組単位（学部等）の人数
 ※2019年5月1日時点での本事業の取組単位において海外に留学している日本人学生数

人

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

（i）日本人学生数の達成目標（単位：人（延べ数））

事業計画全体の達成目標(事業開始～2024年度まで)	0
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	0
中間評価までの達成目標(事業開始～2021年度まで)	0
うち申請時の中間評価までの達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	0

【上記の内訳】

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合計人数	0	0	0	0	0

申請時の計画調書記載人数	実際に渡航する学生					
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生					
海外相手大学追加調書分	実際に渡航する学生					
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生					

（ii）目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

計画調書の【達成目標】

⑤ 本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移からの転載（事務局にて転載済）

（i）日本人学生数の目標の達成状況（単位：人（延べ数））

事業計画全体の達成状況(事業開始～2024年度まで)	0
中間評価までの達成状況(事業開始～2021年度まで)	0

（単位：人）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	0	0	0	0	0
自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	I				
	II				
実渡航とオンライン受講を行った学生					

- I コロナ禍の影響により、実渡航からオンラインへ切り替えて実施したもの
- II もともとオンライン実施で準備していたもの

【目標の達成状況】

申請時の目標と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

（大学名：

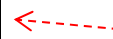
）（タイプA 主たる交流先：アフリカ諸国）

⑧ 本事業において受け入れた外国人学生数の推移（質の保証をともなった日本人学生の受入者数） 【2ページ以内】

2019年5月1日現在／本事業の取組単位（学部等）の人数

※2019年5月1日時点での本事業の取組単位において受け入れている外国人学生数

人



申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

（i）外国人学生数の達成目標

（単位：人（延べ数））

事業計画全体の達成目標(事業開始～2024年度まで)	0
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	0
中間評価までの達成目標(事業開始～2021年度まで)	0
うち申請時の中間評価までの達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	0

【上記の内訳】

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合計人数		0	0	0	0	0
申請時の計画調書記載人数	実際に渡航する学生					
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生					
海外相手大学追加調書分	実際に渡航する学生					
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生					

（ii）目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

計画調書の【達成目標】

⑥ 本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移からの転載（事務局にて転載済）

（i）外国人学生数の目標の達成状況

（単位：人（延べ数））

事業計画全体の達成状況(事業開始～2024年度まで)	0
中間評価までの達成状況(事業開始～2021年度まで)	0

（単位：人）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
合計人数		0	0	0	0	0
プログラムをオンラインで受講する学生			II			
	実渡航とオンライン受講を行った学生					

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

【目標の達成状況】

申請時の目標と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの達成状況について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。

（大学名：

）（タイプA 主たる交流先：アフリカ諸国）

⑨⑩ 交流学生数内訳

(i) 交流学生数(実績)、(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数

(i) 本事業計画における交流学生数(計画)

(単位:人)

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
各年度の派遣及び受入合計人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は、(Ⅲ)表参照)											0	0

(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数

交流形態	① 単位取得を伴う交流期間30日未満の交流
	② 単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流
	③ 単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流
	④ 上記以外の交流期間30日未満の交流
	⑤ 上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流
	⑥ 上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流

学生別	A	学部生
	B	大学院生

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

1【代表申請大学】

大学名			(単位:人)						
交流プログラム名 (相手大学名)	交流 方向	交流 形態	学生別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合計
	派遣								0
	派遣								0
	受入								0
	受入								0
	派遣								0
	受入								0
	派遣								0
	受入								0

2【国内連携大学等】

大学名			(単位:人)						
交流プログラム名 (相手大学名)	交流 方向	交流 形態	学生別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合計
	派遣								0
	受入								0
	派遣								0
	受入								0

(i) 本事業計画における交流学生数(実績)

(単位:人)

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
各年度の派遣及び受入合計人数 (交流期間、単位取得の有無等の内訳は、(Ⅲ)表参照)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(内訳)	実際に派遣した学生 (以下「実派遣」)										0	0
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講した学生(以下「オンライン」)		I	I							0	0
	実派遣とオンライン受講を行った学生 (以下「ハイブリッド」)			II							0	0

(ii) 国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数

学生別	A	学部生
	B	大学院生

交流形態	実	実派遣
	オ	オンライン
	ハ	ハイブリッド

I	コロナの影響により、実派遣からオンラインへ切り替えて実施したもの
II	もともとオンライン実施で準備していたもの

1【代表申請大学】

大学名			(単位:人)																
交流プログラム名 (相手大学名)	交流 方向	交流 形態	学生別	2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			合計
				実	才	ハ	実	才	ハ	実	才	ハ	実	才	ハ	実	才	ハ	
	派遣			/	/													0	
	派遣			/	/													0	
	受入			/	/													0	
	受入			/	/													0	
	派遣			/	/													0	
	受入			/	/													0	
	派遣			/	/													0	
	受入			/	/													0	

2【国内連携大学等】

大学名			(単位:人)																
交流プログラム名 (相手大学名)	交流 方向	交流 形態	学生別	2020年度			2021年度			2022年度			2023年度			2024年度			合計
				実	才	ハ	実	才	ハ	実	才	ハ	実	才	ハ	実	才	ハ	
								イ											
	派遣																	0	
	受入																	0	
	派遣																	0	
	受入																	0	

(大学名:)

(タイプA 主たる交流先: アフリカ諸国)

(iii) 本事業で実施した交流学生数（派遣・受入別 各内訳の集計）

(ⅱ) 本事業で計画している交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

(単位:人)

日本人学生の派遣【計画】		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合計
年度別合計人数	学生別	0	0	0	0	0	0
【交流形態別 内訳】							
単位取得を伴う交流期間30日未満の交流							0
単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流							0
単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流							0
上記以外の交流期間30日未満の交流							0
上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流							0
上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流							0

(ⅲ) 本事業で実施した交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

(単位:人)

日本人学生の派遣【実績】		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	合計
年度別合計人数	学生別	0	0	0	0	0	0
【交流形態別 内訳】							
単位取得を伴う交流期間30日未満の交流		0	0	0	0	0	0
実渡航							0
オンライン			I				0
ハイブリッド			II				0
単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流		0	0	0	0	0	0
実渡航							0
オンライン			I				0
ハイブリッド			II				0
単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流		0	0	0	0	0	0
実渡航							0
オンライン			I				0
ハイブリッド			II				0
上記以外の交流期間30日未満の交流		0	0	0	0	0	0
実渡航							0
オンライン			I				0
ハイブリッド			II				0
上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流		0	0	0	0	0	0
実渡航							0
オンライン			I				0
ハイブリッド			II				0
上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流		0	0	0	0	0	0
実渡航							0
オンライン			I				0
ハイブリッド			II				0

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

(大学名 :

) (タイプA 主たる交流先 : アフリカ諸国)

(Ⅲ)本事業で計画している交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

外国人学生の受入【計画】

2020年度2021年度2022年度2023年度2024年度合計

年度別合計人数学生別0000000

【交流形態別 内訳】

単位取得を伴う交流期間30日未満の交流0

単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流

単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流0

上記以外の交流期間30日未満の交流0

上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流0

上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流0

(Ⅲ)本事業で実施した交流学生数(派遣・受入別 各内訳の集計)

外国人学生の受入【実績】

2020年度2021年度2022年度2023年度2024年度合計

年度別合計人数学生別0000000

【交流形態別 内訳】

単位取得を伴う交流期間30日未満の交流0000000

実遠航0

オンライン0

ハイブリッド0

単位取得を伴う交流期間30日以上3ヶ月未満の交流0000000

実遠航0

オンライン0

ハイブリッド0

単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流0000000

実遠航0

オンライン0

ハイブリッド0

上記以外の交流期間30日未満の交流0000000

実遠航0

オンライン0

ハイブリッド0

上記以外の交流期間30日以上3ヶ月未満の交流0000000

実遠航0

オンライン0

ハイブリッド0

上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流0000000

実遠航0

オンライン0

ハイブリッド0

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

(大学名 :

(タイプA 主たる交流先 : アフリカ諸国)

(IV) 海外相手大学との単位互換

(1) 単位互換を実施する海外相手大学数【計画】

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数										

(2) 相手大学ごとの単位互換内訳【計画】

学生別	A	学部生
	B	大学院生

【派遣する日本人学生が取得した単位の互換】

1. 代表申請大学【大学名： 大学】

相手大学名		学生別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

2. 国内連携大学【大学名： 大学】

相手大学名		学生別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

(1) 単位互換を実施した海外相手大学数【実績】

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位互換を実施する 海外相手大学数										

(2) 相手大学ごとの単位互換内訳【実績】

学生別	A	学部生
	B	大学院生

【派遣した日本人学生が取得した単位の互換】

「事後評価データシート」を活用して記入し、表を図として貼り付けてください。

相手大学名		学生別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

2. 国内連携大学【大学名： 大学】

相手大学名		学生別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
	認定者数						
	認定単位数						
年度別認定者数合計			0	0	0	0	0
年度別認定単位数合計			0	0	0	0	0

(大学名：

) (タイプA 主たる交流先：アフリカ諸国)

⑪-1 その他（上記⑥～⑩に該当するもの以外）

●本来実渡航で行うべきところ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてオンラインで実施した国際教育・交流プログラム

開催年月	プログラム名称	参加者数		備考（プログラム内容が分かる URL 等）
記入例) 2020 年 12 月～2021 年 1 月	〇〇〇プログラム	▽▽	人	https://www.....
			人	
			人	
			人	

「日本人学生数」の実績値及び「外国人学生数」の実績値としてはカウントできないが、本来実渡航で行うべきところ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてオンラインで実施した国際教育・交流プログラムがあれば、その名称と参加者数を記入してください。
また、プログラム内容が分かるURL等があれば、備考へ記入してください。

⑪-2 任意指標への取組

※計画に基づき必要な任意指標（事業のアクティビティ、アウトプット及び得られるアウトカムを数値化した目標）を設定している場合

【計画内容】

※計画に基づき必要な任意指標（事業のアクティビティ、アウトプット及び得られるアウトカムを数値化した目標）を設定している場合、記入してください。

【取組状況や得られた成果と課題、今後の展望】

※計画に基づき必要な任意指標（事業のアクティビティ、アウトプット及び得られるアウトカムを数値化した目標）を設定している場合、左記の計画と対比させて、2020年度の採択後から2024年度末までの取組状況や得られた成果と課題、今後の展望について、文頭に簡潔に1文で記入した上で、具体的な説明は後述してください。なお、2025年度の実績のうち、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が2025年度の実績であることが分かるように記入してください。

3. 今後の展開及び我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に対する貢献【3ページ以内】

【交流プログラムの内容及び大学間交流の枠組み形成】

【交流プログラムの内容及び大学間交流の枠組み形成】～【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及、評価体制】の項目毎に、補助期間終了後も、明確な事業計画や資金計画を策定し、本事業の成果を活かした活動が自主的・恒常的に行われているか、もしくは行う予定があるか、また、本事業が我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に貢献することができるかについて、それぞれ文頭に簡潔に1文で示した上で、具体的な説明は後述してください。

【外

【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及、評価体制】

【その他我が国の大学教育のグローバル展開力の強化に対する貢献について】

上記の各項目で記入した以外の内容があれば、記入してください。
文頭に簡潔に1文で示した上で、具体的な説明は後述してください。

補助期間における各経費の実績【年度ごとに1ページ】

(単位:千円)

計画調書に記載した年度ごとの各経費の明細について、2024年度までの実績報告書に基づき記載。 【年度ごとに1ページ】					
<2020年度> 経 費 区 分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		5,255	0	5,255	
①設備備品費					
・〇〇システム一式		2,455		2,455	
・視聴覚装置一式		2,800		2,800	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・雇用等経費（特任教授）				0	
・雇用等経費（〇〇用事務補佐員）				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・国内旅費（〇〇会議、実施調査）				0	
・国外旅費（〇〇調査）				0	
・外国人招へい等旅費（〇〇指導）				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]					
①外注費					
・					
・					
・					
②印刷製本					
・					
・					
・					
③会議費					
・					
・					
・					
④通信運搬費				0	
・					
・					
・					
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・					
⑥その他(諸経費)					
・返納		8,015		8,015	利息174円
・				0	
・				0	
2020年度	合計	13,270	0	13,270	

「補助金額（a）」欄には補助事業に要した補助対象経費の額を、「大学負担額（b）」欄には、自己収入その他の金額を記入してください。
2020～2023年度分は確定済みの額を記入し、2024年度分は文部科学省に提出した実績報告書の額と一致するように記入してください。
(ただし千円単位で記入し、端数調整をしてください。)
「補助金額（a）」及び「大学負担額（b）」を記入すると、「支出実績（a+b）」、各項目の合計額及び該当年度の合計額が自動的に計算されます。
各費目の内訳については、内容がある程度わかるように記入してください。

なお、「大学負担額(b)」記載以外に、国立大学法人及び公立大学法人における「運営費交付金」等で自己負担額がある場合、備考欄に具体的な金額等を補足することは可能です。

国内の大学が複数連携して実施している事業の場合は、実績報告書等と同様に、分担金配分の内訳がわかるように記入してください。

利息がある場合は「[その他] ⑥その他(諸経費)」の「備考」欄に実際の利息額を円単位で記入してください。

返納がある場合は、「[その他] ⑥その他(諸経費)」欄に記入してください。

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2021年度> 経 費 区 分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2021年度	合計	0	0	0	

(代表大学名:) (主たる交流先: アフリカ諸国)

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2022年度> 経 費 区 分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2022年度	合計	0	0	0	

(代表大学名:) (主たる交流先: アフリカ諸国)

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2023年度> 経 費 区 分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2023年度	合計	0	0	0	

(代表大学名:) (主たる交流先: アフリカ諸国)

(前ページの続き)

(単位:千円)

<2024年度> 経 費 区 分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
2024年度	合計	0	0	0	

(代表大学名:) (主たる交流先: アフリカ諸国)